

2016年2月29日

トヨタホーム株式会社

新型家庭用燃料電池「エネファーム type S」の採用を開始

ZEHを後押し、4月1日からトヨタホーム戸建て商品で

トヨタホーム株式会社（名古屋市東区、取締役社長 山科忠）は、大阪ガス株式会社と京セラ株式会社、アイシン精機株式会社、トヨタ自動車株式会社が共同開発した家庭用燃料電池「エネファーム type S」^{※1}の新機種を4月1日からトヨタホームの戸建て商品で採用します^{※2}。政府が2020年をめどにネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）^{※3}の普及を目指す中、トヨタホームは創エネルギー、省エネルギーなどの機能を充実し、お客様のZEHへのご要望にお応えしてまいります。



【新型「エネファーム type S」】



【トヨタホームのZEH「シンセ・スマートステージ ZERO」】

トヨタホームは今年1月に戸建て新商品「シンセ・スマートステージZERO」を発売するなど、ZEHに対応しております。新「エネファーム type S」は、従来品にくらべ発電効率が46.5%から52%と大幅に向上しつつ、設置スペースが1.4㎡と30%の省スペースを実現するため、お客様のZEHを実現する有力な省エネ機器として期待されております。

トヨタホームは「建てるときの安心」「建てたあとも安心」「支える安心」の三つの安心をお届けし、60年長期保証^{※4}制度などで生涯サポートします。



- ※1 「エネファーム type S」は天然ガスから取り出した水素を空気中の酸素と化学反応させて発電し、その際に出る熱もお湯として利用できる効率的なエネルギーシステムです。
- ※2 一部販売していない地域がございます。トヨタホームでの採用につきましてはお近くのトヨタホーム販売店にお問い合わせください。
- ※3 ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）とは、太陽光等を活用して生み出すエネルギーが、家庭での一次エネルギー消費より多い、もしくはその差がゼロになる住まいを指します。
- ※4 トヨタホーム販売店による点検と適切なメンテナンスが必要です。